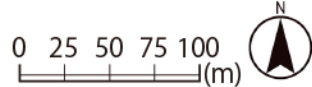


# 米原市醒井水害履歴マップ② 昭和34年9月26日伊勢湾台風(台風15号)



平成30(2018)年10月4日米原市醒井 醒井公民館で行った聞き取り調査に基づき作成

作成 関西大学 景観研究室 (米原市都市計画地図上に作成)

## 伊勢湾台風の被害

### 【概要】

- 中心気圧が1日に91hPa下がるなど猛烈に発達し、非常に広い暴風域を伴った。\*1.
- 九州から北海道にかけてのほぼ全国で20m/sを超える最大風速と30m/sを超える最大瞬間風速を観測した。\*1.
- 滋賀県では、平均風速20m/s以上、最大瞬間風速30m/s、総降水量338mm(24~26日の3日間)を記録している。\*3.

\*1. 「災害をもたらした気象事例『伊勢湾台風』」より  
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosal/report/1959/19590926/19590926.html>  
 \*2. 『水害情報発信—水害の記録と記憶—』より  
[http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ryuiki/hanran/daihyou/s34\\_isewan.html](http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ryuiki/hanran/daihyou/s34_isewan.html)

	全国*1	滋賀県*2
死者(名)	4,697	16
住家全壊(棟)	40,838	342
床上浸水(棟)	157,858	5,920

\*3. 『滋賀県水害誌』より

### 【醒井での伊勢湾台風被害】

- 住民の方が記憶されている中で、天野川の氾濫により醒井地区内の住居域が浸水した、唯一のケースである。
- 風台風であったため、風で屋根が飛ば被害があった。
- 浸水までの流れ
  - ①天野川が増水し、堤防から田地に川水が越水した。
  - ②浸水した水がトロッコ道に堰き止められ、田地内の水位が上昇した。
  - ③天野川左岸堤防が決壊し、大量の水が氾濫した。ここは、一ヶ月前の台風13号で欠損しており、その影響があった可能性がある。
  - ④田地内で2m以上の高さまで水位が上がり、国鉄線の盛土を超えて集落側に氾濫水が流入した。
  - ⑤氾濫水に耐えられなくなり、トロッコ道が決壊した。これにより田地の水位が下がり、集落への流入が止まった。
- 田地に流入した水が排水されるまで1日、駅前広場周辺の水が完全に排水されるまでに7日かかった。
- 醒ヶ井駅に列車と乗客が避難しており、Kさんがボランティアで2升釜二つで米を炊き、おにぎりと漬物を振舞った。

伊勢湾台風【対応】  
 田地に流入した土砂のうち、持ち運び可能な石だけ人の手で運搬した

伊勢湾台風【被害】  
 天野川左岸堤防沿いのトロッコ道付近にあった小屋が流出した

伊勢湾台風【被害】  
 左岸堤防が決壊した

② 小屋  
 川水が堰き止められ水位上昇

⑤ トロッコ道決壊

④ 盛土を超えて氾濫水が流入

伊勢湾台風【被害】  
 駅前広場周辺は二階付近まで浸水している家があった

伊勢湾台風【被害】  
 Kさん宅浸水約2m

伊勢湾台風【対応】  
 一階部分が水没していたため、二階へ避難し、家財は二階から田舟で搬出した

① 堤防から川水が越水

③ 堤防が決壊し川水が氾濫

伊勢湾台風【被害】  
 天野川上流の盛土がえぐられ、その上に敷設されていた線路が宙に浮き、濁流の中に国鉄の線路が浮遊していた

伊勢湾台風【被害】  
 Iさん宅周辺 床上浸水

伊勢湾台風【被害】  
 国鉄のガード下から住宅地へ、水が流入した

伊勢湾台風【対応】  
 消防団の方により、ガード下から水が流入している地点に土嚢が積まれた

伊勢湾台風【被害】  
 Nさん宅は床上浸水で、あと10cmで床上浸水というところまで水が迫った

伊勢湾台風【被害】  
 ヤマキ醤油(Eさん)の蔵では、樽が水に流れられ浮遊していた



凡例

- 河川 (Blue line)
- 旧流路 (Dashed blue line)
- 浸水推定範囲 (Light blue shaded area)
- 被害状況 (Red outline)
- 決壊、欠損箇所 (Red X)
- 浸水する際の水の流れ (Blue arrow)
- 対応状況 (Green outline)